

マンジャロ（チルセバチド皮下注）

【位置づけ】

- 日本での承認効能は2型糖尿病です。体重減少目的での使用は適応外であり、使用する場合は自費診療となります。

【使用方法】

- 週1回皮下注。
- 2.5mg開始し、最大15mgとなります。用量は診察により個別調整していきます。

【治療期間】

- 数週間～数か月が一般的です。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- 消化器症状（吐き気・下痢等）、低血糖（併用薬あり時）、膵炎、胆囊疾患。

【入手経路】

- 国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- 体重減少としては未承認薬なので、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象にはなりません。

ウゴービ（セマグルチド皮下注）

【位置づけ】

- ・肥満症治療薬として承認されております。美容目的の減量薬ではございません。

【使用方法】

- ・週1回皮下注。
- ・0.25mg 開始、最大2.4mgまで増量できます。

【治療期間】

- ・数週間～数か月が一般的です。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- ・消化器症状、低血糖（併用時）、膵炎、胆囊疾患、甲状腺腫瘍リスク注意あり。

【入手経路】

- ・国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- ・体重減少としては未承認薬なので、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象にはなりません。

オゼンピック（セマグルチド皮下注）

【位置づけ】

- 日本での承認効能は2型糖尿病です。体重減少目的での使用は適応外であり、使用する場合は自費診療となります。

【使用方法】

- 週1回皮下注。0.25mg→0.5mg→1.0mgまで增量可能です。

【治療期間】

- 数週間～数か月が一般的です。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- 吐き気・下痢など、低血糖、膵炎、胆囊疾患。

【入手経路】

- 国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- 体重減少としては未承認薬なので、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象にはなりません。

リベルサス（経口セマグルチド）

【位置づけ】

- 日本での承認効能は2型糖尿病です。体重減少目的での使用は適応外であり、使用する場合は自費診療となります。

【使用方法】

- 1日1回3mg→7mg→14mg。空腹時投与、少量の水でなど服用します。

【治療期間】

- 数週間～数か月が一般的です。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- 消化器症状、低血糖、膵炎、胆嚢疾患。

【入手経路】

- 国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- 体重減少としては未承認薬なので、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象にはなりません。

メトホルミン

【位置づけ】

- 日本での承認効能は2型糖尿病です。体重減少目的での使用は適応外であり、使用する場合は自費診療となります。

【使用方法】

- 250mg/回、2回/日から開始します。最大750～1500mg。

【治療期間】

数週間～数か月が一般的です。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- 消化器症状、乳酸アシドーシス（極めて稀だが重篤）。

【入手経路】

- 国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- 体重減少としては未承認薬なので、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象にはなりません。

フォシーガ（ダパグリフロジン）

【位置づけ】

- ・SGLT2 阻害薬です。日本での承認効能は 2 型糖尿病、慢性心不全、慢性腎臓病です。
- ・減量目的で体重減少目的での使用は適応外であり、使用する場合は自費診療となります。

【使用方法】

- ・通常、5mg を 1 日 1 回経口投与。必要に応じて 10mg に增量可能。
- ・用量は診察により医師が個別調整します。

【治療期間】

- ・数週間～数か月が一般的。期間は個別判断となります。

【主な副作用】

- ・尿量増加、口渴、脱水。
- ・尿路感染、性器感染症（カンジダなど）。
- ・低血糖（併用薬あり時）、ケトアシドーシス（稀だが重篤）。

【入手経路】

- ・国内の卸業者から仕入れております。

【救済制度】

- ・減量目的は未承認のため、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品副作用被害救済制度の対象外となります。